

学校だより

東 雲

(しのめ)



八戸市立東中学校

Tel 31-3170 31-3180

※ 東中学校の教育情報は、ホームページやブログでも
公開しておりますので、是非ご覧ください。

Fax 32-1130

http://hachinohe.ed.jp/higasi_j/

◇◇ 共育93 ◇◇

(「共育」: 皆さんと「共に育む」の意味です。)

大きく伸びた「五つの生活実践」

教頭 工 藤 聡

五つの生活実践

(数字は「できている」生徒の割合)

		(23年度)	(22年度)	(21年度)	(20年度)
1	朝、自分の力で起きている。	81%	83%	81%	78%
2	あいさつと返事をしっかりしている。	93%	88%	89%	79%
3	履き物をそろえておき、大事にしている。	94%	93%	90%	87%
4	継続して、人のために何か尽くしている。	78%	73%	73%	47%
5	歩いて登校・下校している。	94%	91%	90%	86%

学校だよりでは、2回にわたって「東中の教育活動」に対する保護者アンケートの結果と、保護者の皆様の自由意見に対する学校の見解を掲載してきました。保護者アンケートと同じ時期に、生徒にもアンケートを実施しておりますので、今回はその結果についてお知らせいたします。

学校として、最も力を入れて指導しているのが、職員室前にも大きく掲示してある「五つの鉄則(五つの生活実践)」です。5年前(平成19年度)から取り組んでいるもので、「力のある人間」を目指すためには、「依頼心を絶つこと」「稚心を去ること」が絶対に必要な条件であるという前提のもと、全教職員で共通理解しながら指導にあたっています。1年生は希望式、2年生は立志式を2月に行う予定ですが、それにも、この「依頼心を絶つ」「稚心を去る」という考え方が大きく生かされています。3年生としては、今年は3月8日の卒業式が最後となるわけですが、それはただ中学校や義務教育を終えるというのではなく、「15歳として自立する」ことだと考えられます。中学校3年間の勉強や部活動はもちろん、行事等のいろいろな体験を通して、『一人一人が子どもとしての幼さから脱却』して、『自ら考え判断・行動することで、自らの責任を積極的に果たす大人へ成長する』ことが、何よりも大切なことではないでしょうか。

以上の理由から、「五つの生活実践」を教育活動の根底に据え、それを生徒にも意識させながら指導しているわけですから、ある意味で、保護者の皆様や我々教職員の評価よりも、生徒の自己評価が非常に重要ではないかと考えられるのです。その点で、生徒の自己評価が大きく伸びていることはうれしい限りです。特に、「あいさつ」に関しては、「保護者アンケート」でも多くの方々がそれに触れ、「気持ちがいい」とか「素晴らしい」というふうに自由意見で絶賛してくれております。また、「歩いて登下校する」ことも、冬期間で部活動が延長になり、時間帯が遅くなったりした時は、安全面を考慮して逆に保護

者の送迎が必要になる場合もあるわけですから、その点を厳しく評価した生徒も含めると、かなりの生徒ができていますと考えてもいいのではないのでしょうか。逆に、「朝、自分の力で起きる」という項目では、若干ではありますが、数値が下がっています。何か事情のある場合はやむを得ませんが、何といたっても「依頼心」の典型的な例が「朝、誰かに起こしてもらおうこと」ですから、ご家庭でもご留意いただきながら取り組んでいければと思います。また、「継続して人のために尽くす」という項目のみ、学校が達成の目安としている80%に達していませんでした。生徒たちが、人のために何かを尽くすことができる機会を、もっと提供できるようにしていきたいと思います。

生徒アンケート結果

No.	質 問 項 目	23年度	22年度	21年度	20年度
1	遅刻せずに登校している	97	95	92	92
2	勉強道具を前の晩のうちにそろえている	86	83	81	74
3	夜ふかしせずに寝ている	72	65	68	47
4	親とはよく話をする	84	82	81	78
5	退下後は、買い食いや寄り道をせず帰っている	97	96	95	96
6	元気なあいさつをしている	91	82	82	66
7	目上の人に丁寧な言葉遣いができる	95	90	91	88
8	朝自習に真剣に取り組んでいる	94	90	88	86
9	授業内容はわかりやすい	82	73	68	62
10	授業では、積極的に発表している	63	55	54	27
11	授業中、教え合ったり学び合ったりしている	84	73	73	75
12	家庭学習に毎日取り組んでいる	89	86	82	81
13	理解の不足している教科がある	80	87	81	74
14	基礎と応用に分けたいと思う教科がある	64	67	68	51
15	テスト期間中は計画どおりに勉強している	74	69	68	61
16	読書に親しんでいる	88	80	78	
17	服装をしっかりと整えている	96	93	91	85
18	部活動に積極的に取り組んでいる	95	88	88	87
19	係活動は一生懸命行っている	95	92	92	91
20	学校行事に積極的に参加している	96	90	91	82
21	清掃の前後の黙想をきちんとしている	95	85	88	79
22	中学校生活に満足している	83	73	82	76
23	友達や級友の気持ちを理解し、仲良く過ごしている	92	92	90	92

次の3つの項目は、「9 授業内容はわかりやすい」⇒「授業に満足している」、「No.11 授業中、教え合ったり学び合ったりしている」⇒「授業中学びあえる雰囲気がある」、「No.20 学校行事に積極的に参加している」⇒「学校行事は積極的に参加できる雰囲気にあふれている」というように、質問の内容が若干変更になっていますが、関連性がありますので、過年度の数値をそのまま掲載しています。

全般的に数値は上がっています。特に、「No.6 あいさつ」は9ポイント、「No.7 言葉遣い」は5ポイント、「No.10 発表」は8ポイントも上昇しました。本校の生徒に必要な力の一つとして、『自己を表現する力』を課題に取り組んでおりますが、それが少しずつ表れてきたのではないかと思います。それが他の項目にも、いい影響となって出ており、「No.22 中学校生活に満足している」は10ポイントもの上昇につながりました。しかし、前述した達成目標の目安とする80%に達しない項目もいくつかあり、「No.13 理解の不足している教科がある」と感じている生徒にいたっては80%もいますので、真摯にとらえ、今後も全力で指導にあたっていきたいと思います。